



## 第2回ナレッジサロン・インターナショナル ～KMO主催 プレ・ナレッジサロン 開催レポート～



英語と日本語の二ヶ国語で、日本に住む外国人や、関西に一時的に  
来ている 海外のビジネスマン、そして国際的な考えを持つ日本のビジネ  
スマンやプロフェッショナルを対象とするサロン「Knowledge Salon  
International」。

4月26日に、ドナースピーカーとしてフィンランド出身のトイボネン氏を  
迎え、第2回を開催しました。複数の共同研究プロジェクトに関わりなが  
ら未来の経済や 社会を理解する鍵となる「コワーキング」や「社会イ  
ノベーション」を調査しているトイボネン氏に、今回は、日本の若者の社会  
イノベーション、社会企業家を切り口に語っていただきました。

当日は70名を超える皆さまにお集まりいただく中、アジアや欧米出身  
の外国人の方々の比率が高いサロンとなりました。大阪でこのような多  
様性を感じる場はなかなかないということで、貴重な機会を提供しました。



### <実施概要>

- 実施日時： 2012年4月26日(木)19:00～21:00
- 実施場所： グランフロント大阪 プロモーションセンター
- 参加者： 71名
- 言語： 二ヶ国語(英語、日本語)
- ナレッジドナー： Dr. Tuukka Toivonen (フィンランド)  
「若者」「仕事」「社会的イノベーション」を専門とするフィンランド出身の国際社会学者。オックスフォード大学 Green Templeton Collegeリサーチ フェロー、国際交流基金の特別研究員、神戸大学経済経営研究所の客員 研究員を務める。
- テーマ： 『麻痺した国の機敏な若者たち  
ー日本の若い大人たちが 東アジアの社会イノベーション革命をリードしていく理由』